

特装車 メンテナンスニュース

保守・消耗部品交換編

No. 42 2017・1

安全・安心は純正部品から



定期交換部品は純正部品を使用ねがいます!!

《純正部品は最高の品質・安全・安心の決め手です》

非純正部品（市販品・イミテーション）は純正部品と比べて、規格や性能が異なるため、他の機能部品等にも悪影響を与えるおそれがあります。最悪の場合、大切な特装車両が壊れる原因となります。特装車の性能を維持し、末永く使用するために、純正部品の使用が重要です。非純正部品（市販品・イミテーション）を使用している場合は保証期間中であっても保証の対象外となります。

特装メーカー純正部品の使用をお勧めいたします

★ 純正部品使用のメリット

各社製品の車両は純正部品を前提として作られています。純正部品によるメンテナンスで最大限の性能を発揮いたします。

★ 安心の品質保証

純正部品であれば各メーカーが品質を保証いたします。車両出荷時と同じパフォーマンスを継続してご使用いただけます。

★ 部品供給体制

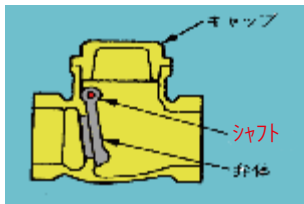
各特装メーカーで部品供給体制を整え全国に供給を行なっています。部品販売は各社指定サービス工場にてお受けいたします。



※ 特装車両に使用されている部品で、一見 市販品と同等に見えるものの、その用途に応じた特別な仕様になっている部品が多数使われております。それらは純正部品として、架装メーカーよりその車両の仕様に応じて部品メーカーに制作していただいています。それ以外に同等部品として純正部品以外で一般に市販されているものがあり、それらは性能や仕様がその車両に合ったものであるかどうかは確認できないものであり、最悪特装車両の性能を損なうばかりではなく、故障などのトラブルを引き起こす可能性があり、注意すべき部品です。（特にイミテーション部品は注意）

純正部品は特装車の寿命を延ばし、ランニングコストを節約するとともに、安全・安心を提供いたします。

（例）粉粒体運搬車の逆止弁（チェックバルブ）の構造



■ 逆止弁（チェックバルブ）は定期交換部品ですが内部構造は非純正部品（市販品・イミテーション）と全く違いメーカー仕様で作られたものです。

■ 純正逆止弁（チェックバルブ）のシャフト（赤）には特殊品（耐摩耗性）を使用しています。

（市販品・イミテーション部品は使用していない）

そのため非純正部品を使用した場合、純正部品の寿命とは大きく異なります。

※ 逆止弁（チェックバルブ）は6ヶ月、重要定期点検項目です。内部摩耗状況の点検を怠るとタンクやスローピングプレート



※メーカー指定耐摩耗シャフト



※シャフト摩耗折損、弁体脱落

注意

逆止弁の弁体及びシャフトの磨耗点検を6ヶ月毎に実施してください。弁体の穴とシャフトのどちらか一方でも下部に該当した磨耗が認められれば、逆止弁の取付けは、タンクやスローピングプレートの亀裂及び変形につながります。

逆止弁	200	1,000
シャフト	1,000	10,000
弁体	1,000	10,000

SP100-A1000

特装車両の安全・安心は純正部品で機械も健康

純正部品と定期交換の重要性 !!

1. 純正部品とは・・・

「純正」とは、「**純粋で正しいこと、純粋でまじりけのないこと**」

製造メーカーが販売する部品は、以下の三つに分けられる。

- ①内作品：製造メーカーが自ら作っている部品
- ②外注品：製造メーカーが部品メーカーに作らせた部品（メーカー仕様）
- ③汎用品：市販品（一般的な規格部品）

※純正部品とは「製造メーカーがその製品を製造する際に使用したものと同一、あるいはそれに準じたものとして、製造メーカーが認定して販売している部品」ということである。

よって純正部品を製造している部品メーカーが製造メーカーに納入しているものと同等品を勝手に「純正」あるいは「純正対応」と称して直接販売することもあるが、これは**製造メーカーの認定を受けて販売されておらず、こうした部品を使用すると、厳密には純正ではなくなり、メーカー保証やクレーム対応などを受けられなくなります。**

部品メーカーが訪問やネット販売しているケースが見受けられますが製造メーカーはそれらの部品について、純正部品であるとは認定はしていません。**（純正部品には各社の部品品番ラベル等が貼られています）**



2. 定期／重要定期交換部品（例）※各社取り扱い説明書を参照ねがいます。

■ 定期交換部品

製品の**安全と品質**を維持するために、機能的に異常がなくても必ず定期的に交換しなければならない部品。



油脂類 フィルタ類 ホース・シール類 ワイヤ類 シーブ類 ジャーナル チェックバルブ類 バルブシート類

■ 重要定期交換部品

製品の**安全と品質**を維持するために、機能的に異常がなくても必ず定期的に交換しなければならない部品の中でも、**特に安全上重要な役割を果たしている部品。**



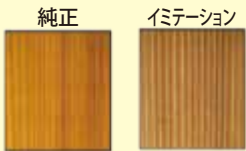
スプリングチャンバ ベローズ ダイアフラム Oリング・シール パッキン・ゴム ブッシュ等 ショックアブソーバ

こんな市販・イミテーション部品は注意してください!!

■ オイルフィルタ純正と市販・イミテーション部品の違い（例）

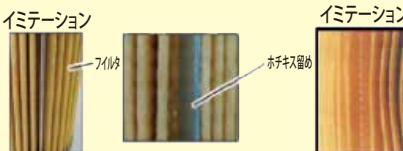
● 市販品・イミテーション部品

①ろ過面積が小さい。（蛇腹の山数が少ない）



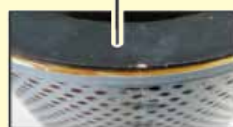
※ろ紙が破損し、回路内に異物が混入する。

③ろ紙がホチキスや糸止め。



※ホチキスの芯が油圧回路内に混入する、縫い目からダストが通過する可能性がある。

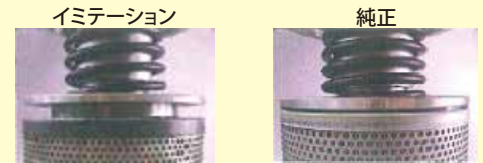
※開口部のパッキン加工が粗雑



※パッキン加工が原因で、油漏れ発生。

● フィルタ イミテーションの事例

※長さ不足によるフィッティング不良のため、フィルタの役目を果たさない。



※水槽の中にエレメントを入れると、低圧状態にも関わらず、気泡が出る。気泡が出ることにより、キャビテーションの原因にもつながる。

● 純正部品



※特装車の点検整備・部品交換は専門的な技術と設備のある、各メーカー指定サービス工場でお受けください。

一般社団法人 日本自動車車体工業会 特装部会 サービス委員会